

### 3. 運転方法 (H-800型は水平使用のみ)

- ① ログ・スプリッタは水平状態と垂直状態のどちらでも運転できます。どちらの状態でもログ・スプリッタは傾斜のない平らな場所で運転してください。(これはログ・スプリッタが傾くのを防ぐためです。)
- ② 垂直状態でログ・スプリッタを運転するには次の手順で行います。
  - A レールの固定ピンをはずし、レールを垂直に起こします。固定ピンを取り付け安定させます。
  - B エンジンを始動させます。エンジンが暖まるまで1-2分待ちます。
  - C 刃と底板の間のビームに薪を立て掛けます。薪の一端をスプリッティング・ウェッジの中心に据え、もう一端を底板の中心に据えます。コントロール・バルブ・レバーを薪の方向に押し下げます。薪が割れるまで、あるいはシリンダー・ロッドが最高に伸びきった時点で停止するまでレバーをこの状態に押さえ続けます。
  - D シリンダー・ロッドが完全に伸びた状態で薪が完全に割れていない場合は、コントロール・バルブ・レバーを引き戻してシリンダー・ロッドを元に戻します。薪はログディスクロージャールにぶつかり、取り除かれます。薪が落下するときには怪我を避けるために後ろにさがって片側に立ってください。
  - E やむをえず薪を手で押える必要がある場合は、必ず薪の側面を押えて絶対に上の木口を押えてはいけません。
- ③ 水平使用が多い場合は、オプションのログクレードルを取り付けることをおすすめいたします。薪が割れても落ちないので楽に作業ができます。また、足の上に落ちて怪我するのも防止できます。
- ④ VHSC-2200の自走装置の取扱いは別途説明書をお読み下さい。

### 4. 点検整備

- ① エンジンオイル
  - A 初回5時間目、次回50時間ごとに交換して下さい。
  - B 毎回使用時にオイルが口元いっぱいあるか点検して下さい。少なければ補給して下さい。
- ② 油圧オイル (油圧作動油32")
  - A 油圧オイルは200時間ごとに交換して下さい。ギヤポンプのホースをはずしてオイルを抜きます。油圧オイルはシリンダの中など完全には抜けないため、油圧オイルは抜いた量を入れて下さい。
  - B オイルフィルターも同時に交換して下さい。(H-800とVH-1500は、フィルターなし)
- ③ 刃の動くレール両サイドには毎回グリスを塗布して下さい。
- ④ 各部のボルトにゆるみがないか時々点検して下さい。